

生きる希望とは何なのか

情報サービス部

妻鹿 佐和子

MEGA SAWAKO

私はときどき「何のために生きているのか」という質問をぶつけては嫌がられている。「生きる希望は何か」と言い換えてもいい。私には明確な理由がある。好きなアーティストのライブに行くためだ。「せめてあと一回ライブに行くまでは死ねない」

そう思って生きている。本音を言えば200回行きたいが、もう一回、もう一回と生きながらえている。あんなに幸せな3時間はない。嫌なことがあっても、もうすぐライブだと思うとなんでもできる気がするから不思議だ。ライブ開催を知った瞬間から幸せは始まっている。最大の難関はチケットの抽選だ。外れたときの地獄は思い出したくもない。無事チケットを確保できれば、当日までの数カ月、来週に迫ってきたときのソワソワ、いよいよ明日というドキドキ、当日の朝の緊張、会場へ向かう一歩、音が鳴っ

た瞬間の興奮。すでに思いが爆発しそうだが、本番はここからだ。

「次のライブのためにがんばって働いて健康に生きよう」

そう決意する帰り道。さんざん跳びはねて足はガクガクだが、ライブ前より元気になっている。同じ曲順でプレイリストを作成し、反芻する日々が始まる。幸せは続くのだ。

みんなそんなものなのかと思っていましたが、どうやらそうではないらしい。ということは、みんなそれに代わる何かを隠し持っているに違いない。そうでなければ生きる気力を保てないではないか。こんなに楽しいことが他にもあるなら知りたい。そう思って、つい聞いてしまうのだ。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本誌では、環境省環境再生・資源循環局の土居局長、同局廃棄物規制課長の松田課長より年頭所感をお寄せいただきました。

JWセンター「事業報告」では、令和4年2月に地方公共団体への提供を開始した電子マニフェストBIツールで可視化される7つのレポートを紹介しています。次に、講習会・研修会の情報では、来年度の講習会の実施方針について、オンライン配信形式、及び一部対面方式の講習会とすることをご案内しております。

また、最終回となります須永様の「コラム」では、資源循環に対応するには“マニフェスト情報を資源循環に”をテーマに、

ASP事業者、JWNETが一体となり取り組むこととされています。4回に亘り「コラム」をご執筆いただいた須永様に御礼を申し上げます。

酒井様の「連載」は、本号では繊維素材循環の方向性と題して、現状と取組の紹介、欧州の戦略について解説いただきました。

最後になりましたが、本誌の発行に際し、ご執筆、ご協力を賜りました皆様方に心より御礼申し上げます。

本年も産業廃棄物の適正処理、循環型社会の形成に向けた情報を発信してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。(広報室)

■本誌に関する連絡先：総務部広報室（e-mail：jigyo@jwnet.or.jp）

〈アンケートへのご協力のお願い〉

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見、ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/kikansi_anq/index.html

JWセンター情報（季刊）VOL.22 NO.4 発行日：2023年1月16日発行 発行人：関 莊一郎

発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111 FAX：03-5275-7112 <https://www.jwnet.or.jp/>
デザイン・印刷：大日本法令印刷株式会社